



## 参加の心構え

いよいよ来月に迫った青年部三聖地巡回練成。ここで改めて、各聖地について、おさらいしておきましょう。私たちの「生命」を司る大御親神を祀る伊勢神宮。建国の祖神を祀る櫛原神宮。御歴代天皇がお鎮まりになる御寺・泉涌寺。三聖地はまさに日本人の原点といえる場所です。

この三つの聖地に、日本人として日々生かされている「御礼」と、世のため人のためにお使いいただける立派な日本人となる「お誓い」をさせていたくのが「三聖地巡拝」であり、その意義は青年部三聖地巡回練成でも変わりません。三聖地で捧げる感謝に「国恩感謝」と書くのはそのためです。

三聖地巡回練成。ここで改めて、各聖地について、おさらいしておきましょう。私たちの「生命」を司る大御親神を祀る伊勢神宮。建国の祖神を祀る櫛原神宮。御歴代天皇がお鎮まりになる御寺・泉涌寺。三聖地はまさに日本人の原点といえる場所です。

この三つの聖地に、日本人として日々生かされている「御礼」と、世のため人のためにお使いいただける立派な日本人となる「お誓い」をさせていたくのが「三聖地巡拝」であり、その意義は青年部三聖地巡回練成でも変わりません。三聖地で捧げる感謝に「国恩感謝」と書くのはそのためです。

ことじす。金剛さまは三聖地巡拝について「日本国民の代表であり、世界中の人々の代表である」といったお言葉を遺されています。もっと身近で言えば、皆さんは解説会、支部、そして我が家の代表です。送り出してくださる支部長さんや家族、教団や支部の皆さんなど、多くの方の思いを受けて参加させていたくのですから、出発前に氏神様への参拝はもちろん、自宅と支部の御神前・仏壇・親御さんや支部長さんに「行つてまいります」とご挨拶をしてから出させていただきましょう。また、無事に帰つたら、そのご報告もさせていただくのが礼節です。

もう一つ覚えておいてもらいたいのは、巡回練成はあくまでも「練成行」であるということです。「練成」とは、立派な心身を鍛り鍛えるという意味です。

暑さに耐え、団体行動でハードな行程を乗り越えていく練成行は、厳しいものかもしだせます。しかし、どんなに辛い状況にあつても自分勝手な行動で周囲に迷惑をかけることなく、互いに思いやりの気持ちを持つて行動することは、自立心や困難に対する行動力も養います。最後に、三聖地に赴く一番の醍醐味は、「聖地に浸る」ことです。各聖地の清らかな神氣に浸り、心静かに参拝させていただく中で、自分が感じたことを大切にしていただきたいです。そして巡回練成から帰つた後、支部長さんや家族に感じた気持ちを伝えてみましょう。ぜひ、たくさんのお土産を持つて話しあつてみましょう。

◎巡回練成の中で、自分が頑張りたいことや楽しみなことにについて話し合つてみましょう。